

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市真田町 6918 番地 1
評価実施期間： 平成30年10月30日から平成31年1月21日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載）  B16023 B18052	

### 2 福祉サービス事業者情報（平成 30 年 10 月現在）

事業所名： (施設名) 佐久市 中佐都保育園	種別： 保育所	
代表者氏名： 佐久市長 柳田 清二 (管理者氏名) 副園長 尾方 順子	定員 (利用人数)： 130名 (144名)	
設置主体： 長野県佐久市 経営主体： 長野県佐久市	開設 (指定) 年月日： 昭和 37 年 10 月 1 日	
所在地： 〒385-0025 長野県佐久市塚原 787-1		
電話番号： 0267-67-3419	FAX 番号： 0267-67-3419	
ホームページアドレス <a href="http://www.city.saku.nagano.jp">http://www.city.saku.nagano.jp</a>		
職員数	常勤職員： 7 名	非常勤職員 20 名
専門職員	(専門職の名称) 副園長 1 名	
	主任保育士 1 名	
	保育士 5 名	保育士 16 名
	調理員 名	調理員 4 名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室 室	遊戯室 1 室
	ほふく室 1 室	便所 6 室
	保育室 7 室	野外遊戯場 (庭園) ー
	調理室 1 室	
	事務室 1 室	

### 3 理念・基本方針

<p>【佐久市 保育理念】</p> <p>子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り生きる力の基礎を培います</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。</li><li>・保護者の気持ちを受け止め、ともに子育てをします。</li></ul> <p>【佐久市の保育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、自然の中で楽しく遊ぶ子ども</li><li>2、心身ともにたくましい子ども</li><li>3、思いやりのある子ども</li></ol>
---

#### 【中佐都保育園 理念・基本方針】

- 1、ひとりひとりの子どもの育ちを支えます。
- 2、地域の方々と共に保護者の子育てを支援します。

#### 【中佐都保育園の目標】

—やさしくたくましい

なかさとっこを願って—

- 1、あいさつをする子ども
- 2、ひとや物を大切にしている子ども
- 3、工夫をしてあそぶ子ども

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

#### 【佐久市の特徴】

中佐都保育園のある地域は、浅間山と新幹線がマッチした山々に囲まれた自然豊かな盆地です。佐久市は、新幹線駅が誘致されたことで、農村地帯は、商業都市に生まれ変わっています。高速道路通過も進んで、県歌「信濃の国」に歌われている[肥沃の地]佐久平は、益々発展し人口の増加があると思われまます。市は第二次佐久市総合計画を策定し、「まち」の目指す将来の姿や、その実現のために必要な取り組みがなされていました。「暮らしやすさ」「住みやすさ」「働きやすさ」を実感でき、持続的に発展できる街づくりを目指していました。

#### 【子育て支援・保育・学校教育の特徴】

第二次佐久総合計画の中に子育て支援も謳われており、のどかな自然豊かな田園地帯で\*基本計画にある、安心できる出産、子育ての環境整備が行われ、①少子化対策・母子保健、②子育て支援・児童福祉に取り組まれていました。

具体的な主な取り組みに

##### (1)結婚・妊娠の環境整備

- ・結婚や子育ての意識の高揚を高め、若者に対して恋愛・結婚・子育て支援に対するイベントの実施。
- ・不妊、不妊治療の助成を行い安心して赴任治療を受けられる環境づくりの推進、妊娠、出産の適齢期について考える機会の提供。
- ・妊婦に対する経済的負担の軽減、福祉医療費の支給の継続。

##### (2)出産・育児の環境整備

- ・妊娠期からの切れ目のない支援、パパママ教室、こんにちは赤ちゃん教室等出産・育児の支援の推進。
- ・浅間総合病院では、引き続き安心して出産できる環境整備、出産後の母と子の関りについて学ぶ機会の提供。
- ・乳幼児の健やかな成長のための、健康診査、審査後のフォロー教室や相談の充実を図る。
- ・予防接種の必要性や効果・計画的に接種できるよう啓発に努める。
- ・経済的負担の軽減に任意予防接種の費用の助成の検討。

第二次総合計画前期の主な取り組み

### (1)子育て支援サービスの充実

- ・多様化するニーズの対応するために、子育てサロン、つどいの広場が等子育て支援事業の推進と多くの参加者、広報活動の強化を図る。
- ・子ども不安や悩みを解決する、チャイルドラインの支援、保護者の育児不安の解消、相談指導の充実。
- ・児童虐待の早期発見、早期対応、予防のための関係機関との連携、啓発の強化。
- ・子育て支援の負担の軽減を図る各種施設の検討。
- ・こども未来館の展示内容や各種講座、ワークショップの充実、地域や学校とともに連携の強化。

### (2)保育サービスの充実

- ・施設の統合や民間活力の導入を検討、施設の改築、設備の充実等保育環境の整備の推進。
- ・乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後児の保育等ニーズに応じた保育内容の充実と保育士の確保。
- ・地域の自然を生かした野外活動を中心に、地域の文化などの取り入れた保育の推進。
- ・認定こども園の設置の検討推進のための情報提供。

### (3)児童館の整備と運営

- ・臼田地区の小学校統合に合わせた児童館の配置検討。
  - ・児童が健全に育つ環境整備、地域と連携し、特徴ある児童館の運営。
- 子育てを地域ぐるみで支援する体制が、行政の後押しでできていました。

#### 【中佐都保育園の特徴】

中佐都保育園は保育室前にミニ菜園、畑での野菜作りを行い、育てる大切さ、収穫する喜び、みんなで食べる食育につなげていました。地域に散歩に出かけ、園の周りの田んぼ、畑、果樹園、小山、神社等地域資源の活用も行われていました。緑豊かな園の周りには、あおむし、アゲハチョウの幼虫、カエル、あり、だんご虫、クワガタ等多くの昆虫を見つける事が出来ました。地域資源の関わりに、育成会が中心になって和太鼓活動に力を入れ、地域のイベント「鯉祭り、敬老会、まちなか音楽祭、音楽会、夏祭り、運動会」に参加し活動の場が広がっていました。

活動の中心としている和太鼓演奏を通して地域交流や異年齢交流を図り様々なイベントに参加し自信をつけていました。地域の方々に伝統行事を教えてもらい引継いでいく大切さを学んでいました。自然に囲まれた環境の中で、自分たちで野菜を育てたり、収穫し食べたりして食に興味・関心を持つ取り組みも行われていました。友だちや地域の人に笑顔で挨拶をし、コミュニケーションをとることに力を入れていました。

《自然の中で育まれる生きぬく力。それは子どもの持つ、未知の力を引き出す保育。日本のちよどおへその信州には広大な森があるのをご存知ですか？毎日、いきもの達がすくすく成長を続ける森と一緒にあなたの子どもの心と体も大きくなります》信州やまほいくの実践されてきました。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回
---------------	-----

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◇特に良いと思う点

○子ども自ら伸びていく力を持ち、主体性を尊重した保育が実践されていました。

中佐都保育園は、144名と佐久市では大きな保育園でした。自然豊かな環境のもと、心が満たされ、素直に気持ちを表して過ごせる子の育ちを願って、友達や保育士と遊ぶ中、楽しさのだけでなく我慢することや思いやる保育がされていました。

○園の特色として、年長児が和太鼓の演奏に取り組んでおり、地域の中で発表の機会もあることから、地域との関りだけではなく、発表までの過程で最後まで頑張る心や友だちと力を合わせる心地よさ、またみんなでできた！という達成感を味わうことができ、大きな自信や自己肯定感が育っています。園内の小さい子どもたちも憧れの気持ちを持ち、年長児もバチの引継ぎや技術を教える、など優しい気持ちが育っています。

○保育士が子どもの発達状況や個人差を理解し、一人ひとりが意欲をもって活動するための適切な援助がされています。子どもの様子がある時は見守り、またある時は必要な支援をし、総合的な振り返りをしながら保育園で育ててほしい姿を見据えた活動計画が立案されています。

○地域の方々とみんなで支える子育て支援がされていました。

中佐都保育園は、保育園の願に、自然に恵まれた環境の中で地域の方々と伝統行事等を通して交流していく事で、心豊かに育てて欲しいとされていました。育成会が中心になり地域の行事イベントに参加がされていました。和太鼓のイベント発表は年長児が参加していますが、年中児は、自らバチの代わりに新聞を丸めてたたきなど「憧れと尊敬」を感じているようでした。年長児の地域イベント発表は勇ましくもあり凛々しくも見えるのでしょうか。地域との関わりは育成会と協力して行われていました。

○保護者と共に子どもが自ら育つ援助、保護者の子育てを支えられていました。

中佐都保育園通信「どんどこ通信」には【なかさとっこ会】に参加されたおうちの方の感想が、一部ではありましたが記載され、各家庭に配布されていました。ご家族の喜びや子どもの成長を感じられた様子が描かれていました。〈帰り道いっぱい誉めてあげました。一番成長を感じました。おねえちゃんらしくなった。パパ、ママ〜ギュツとしてあげた、おつかれさま〉等他の家族の様子を乗せられていました。保護者の嬉しさを支える、子育てを支える、中心として保育園の役割りがされていました。

### ◇特に改善する必要があると思う点

○職員研修・講習へ更なる向上につとめ保育の質の向上の一層の取り組みを期待します。

市等で企画されている研修、外部研修は職員のやりくりで積極的に参加されていることが確認されました。園内研修も職員会等で定期的実施されていました、副園長の指導質の向上も務められていましたが、中佐都保育園の目指す、「園児一人ひとりが自然に恵まれた環境の中で地域の方々と伝統行事を通して交流していくことで心豊かに育ててほしい」しきな遊びを見つけて、よく遊び身近にある和太鼓がどの年齢の子どもにも心のよりどころになり憧れになっていく姿に一層の研修や専門教育に取り組みをされ、中佐都保育園の特色を生かした保育が全職員で協力し取り組まれることを期待します。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評（別添1・2）

・共通評価項目、内容評価項目

## 8 利用者調査の結果

アンケート方式（別添3-1）

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）